

授業科目 病態生理・治療学Ⅰ（後期）

林	【担当教員名】	対象学年	2	対象学科	看護
		開講時期	後期	必修・選択	必修
		単位数	2	時間数	60 (内後期30)
【＜概要＞又は＜一般目標：G I O＞】 病態生理・治療学Ⅰ（前期）で学んだ内容を基礎として、主たる内科疾患を学ぶ。また、その応用として、老年学や老年期に特有な疾患の知識を習得する。					
【＜学習目標＞又は＜行動目標：S B O＞】 内科系の疾患数は膨大であり、このすべてをこの授業で理解するのは不可能である。各職種が臨床場においてよく遭遇する疾患や、処置に注意を要する疾患について、その基礎知識を身に付けることを目標とする。					
回数	授業計画又は学習の主題			SBO	
				番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	内科各論 1	循環器疾患Ⅰ（先天性心疾患と後天性心疾患）			講義（林）
2	内科各論 2	循環器疾患Ⅱ（刺激伝導系の異常と不整脈、心電図）			講義（林）
3	内科各論 3	循環器疾患Ⅲ（心電図の見方；危険な不整脈、虚血性心疾患）			講義（林）
4	内科各論 4	呼吸器疾患			講義（林）
5	内科各論 5	消化器疾患 1 消化管疾患			講義（林）
6	内科各論 6	消化器疾患 2 肝臓・胆管系、脾臓疾患			講義（林）
7	内科各論 7	腎、泌尿器系疾患、電解質異常			講義（林）
8	内科各論 8	内分泌・代謝疾患			講義（林）
9	内科各論 9	血液疾患			講義（林）
10	老年病学 1	老化とは、老年者の疾患の特異性			講義（林）
11	老年病学 2	高齢者の循環器疾患・呼吸器疾患			講義（林）
12	老年病学 3	高齢者の消化器・腎泌尿器系疾患、電解質異常			講義（林）
13	老年病学 4	高齢者の免疫・感染症、血液・内分泌・代謝異常			講義（林）
14	老年病学 5	高齢者の運動器・感覚器・皮膚・精神疾患			講義（林）
【使用図書】		＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格・その他＞
教科書		オリジナル			
参考書		ナースの内科学（5版）	越川昭三（編）	中外医学社	2001年 8000円
		老年期医学テキスト	日本老年医学会（編）	Medical view	1997年 6500円
その他の資料		プリントで配布する。			
【評価方法】		【履修上の留意点】			
試験のみ		前期の病態生理・治療学Ⅰ（前期）と合わせて4単位とするが、病態生理・治療学Ⅰ（後期）として合格点をとる必要がある。			